CT - 30 光ファイバカッタ取扱説明書

1．安全に関するご注意

警告　この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

光ファイバの接続作業の準備中あるいは接続作業中に、折れた光ファイバの破片が誤って目に入る可能性があります。
安全のため、作業中は常に安全めがねを着用して下さい。
また、光ファイバの破片が目以外に付いた場合もケガをする危険がありますので、光ファイバ屑の取り扱いには十分注意して下さい。

注意　この注意を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷する危険および物的損傷のみの発生する危険があります。

- 本製品は、非常に精密な機械です。分解しないで下さい。
- 本製品は、光ファイバを切断することを目的としたものです。決して光ファイバ以外の切断に使用しないで下さい。
- 切断刃には、触れないで下さい。ケガをする恐れがあります。
- 作業中に手を挟む恐れがありますので取り扱いには十分注意して下さい。
- 雨水・結露など製品が濡れた状態での使用・保管はしないで下さい。

2．構成品

品名	型番	数量	備考
本体	CT-30	1 台	
取扱説明書	M-CT30-J	1 部	
ファイバプレート	AD-30A	1 個	CT-30A は標準装備
ファイバプレート	AD-30B	1 個	CT-30B は標準装備
屑回収装置	FC-02	1 台	小型心線屑箱［FDB-02］を 1 個含む
大型心線屑箱	FDB-03	1 個	
六角レンチ	HEX-01	1 個	
キャリングケース	CC-21	1 個	工具セット STS シリーズ以外の単品出荷時のみ適応
サイドカバー	SC-01	1 個	標準装備
メカニカルスプライス用ホルダ台	HBA-01	1 個	CT-30A、CT-30B はオプション
ネジ	SCREW-01	6本	M2×5　サイドカバー取付け、ホルダ台取付け、予備：各2本

3．適応光ファイバ心線

ファイバプレート	適応心数	被覆径	ファイバ径	切断長
無し（ファイバホルダ）	最大 12 心	ファイバホルダに依存	φ0.125mm	10mm
AD-30A	1 心	φ0.25mm	φ0.125mm	6～20mm
		φ0.9mm	φ0.125mm	10～20mm
AD-30B	1 心	φ0.25～φ0.9mm	φ0.125mm	16mm

4．廃却方法(リサイクル)

光ファイバカッタは環境に有害な材質の部品を使用しておりません。また、リサイクル可能な材質の部品も使用しておりません。
不燃物扱いで廃却して下さい。

5．お問合わせ先

修理・メンテナンス等で装置を返却する場合は、故障現象を明記下さるようお願い致します。

技術的な問い合せ先	〒135-8512　東京都江東区木場 1-5-1 （株）フジクラ　光機器・システム事業部 光機器製品部 TEL：03-5606-1636　FAX：03-5606-1536 http://www.fujikura.co.jp/Light_com/1020/formmail3.html
メンテナンス窓口	〒285-8550　千葉県佐倉市六崎 1440 番地 （株）フジクラ　佐倉事業所 光システム開発センター内　光機器・システム事業部 精密機器製品部 メンテナンス担当　　TEL：043-484-3974　FAX：043-484-4816

6．操作手順

使用になる前に 切断レバー（1）を下方に軽く押した状態（図 6-1）でストッパ（2）のロックを外します。（図 6-2）

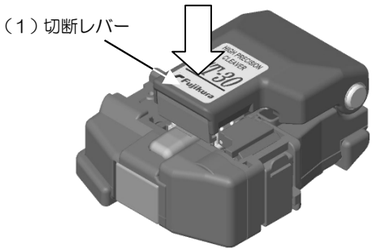

図 6-1

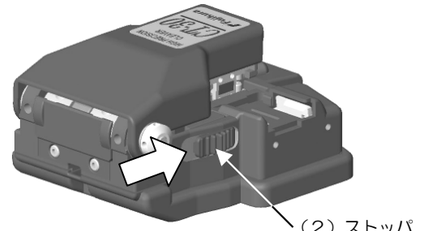

図 6-2

1. 刃スライドボタン（3）をロックする位置まで押し、24～35mm 被覆を除去した光ファイバをセットします。AD-30A 使用時の単心ファイバの切断長はファイバプレートの目盛りで調節して下さい。テープ心線は各ファイバが重なっていないかチェックし、真直ぐセットして下さい。（図 6-3）
2. 続いて切断レバー（1）を閉じると自動的に光ファイバがカットされます。刃スライドボタン（3）が動く位置に指を置かないでください。指に当たり怪我をする恐れがあります。又、止まるまで閉じて下さい。閉じる作業の途中で開いてしまいますと光ファイバに損傷を与えてしまう可能性があります。
3. 切断レバー（1）を開きます。バネの力で開き、自動的にファイバ屑が小型心線屑箱（5）の中に引き込まれます。小型心線屑箱（5）の中身は、こまめに捨てて下さい。

屑回収装置フタは自動で開閉します。無理に力を加えると破損の原因となります。

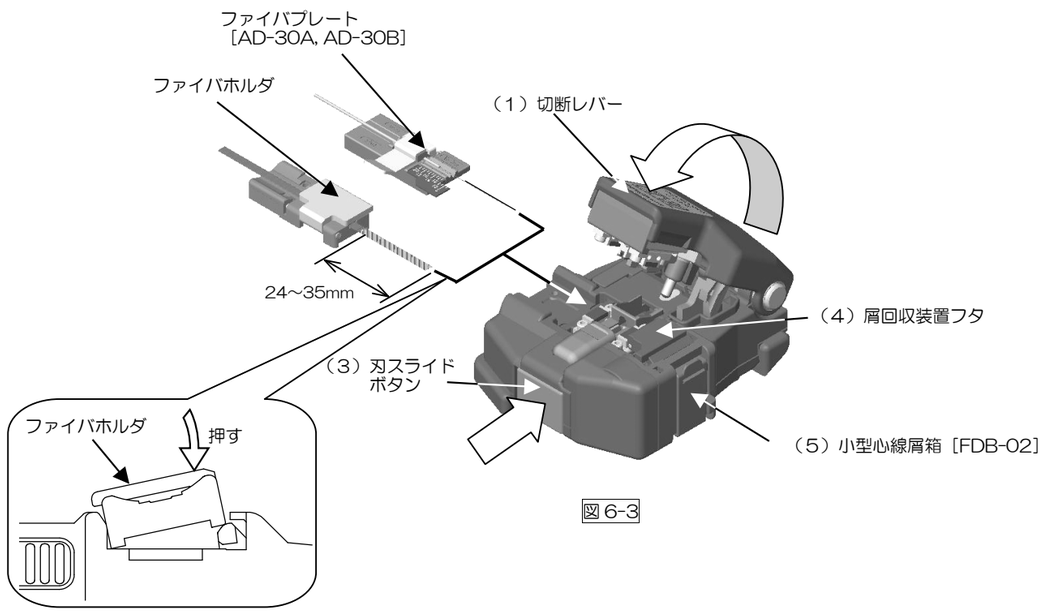

図 6-3

4．大型心線屑箱（６）を使用する場合は、ファイバ屑が大型心線屑箱（６）の中に引き込まれた後に、つまみ（７）を回してファイバ屑を回収して下さい。（図 6-4）
ファイバ屑（８）が溜まり、回収されにくくなったら、大型心線屑箱（６）を取り外し軽く叩いて下さい。（図 6-5）
5．使用しないときは、ストッパ（２）で切断レバー（１）を固定して下さい。
また、ケースに収納するときは、小型心線屑箱（５）、大型心線屑箱（６）のファイバ屑を捨ててから収納して下さい。

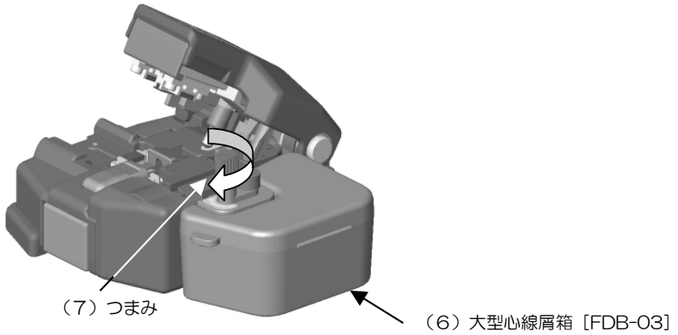

図 6-4

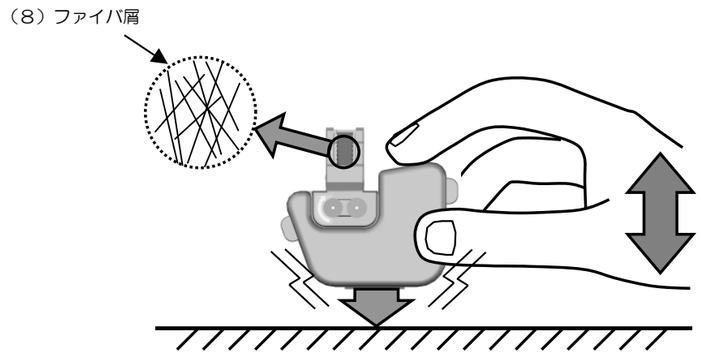

図 6-5

7．メンテナンス

ファイバが切れにくくなったら・・・

ステップ１　ブレードカバー（９）を取り外し（図 7-1）、切断刃（１０）及びファイバクランプ（１１）のゴム面を、アルコールをひたした綿棒などを用いて清掃して下さい。（図 7-2）

ステップ２　清掃しても切れない場合は、以下の要領で刃のポジションを変更して下さい。（図 7-3）
1.小型心線屑箱（５）、大型心線屑箱（６）またはサイドカバー（１６）（図 1）を取り外す。⇒ 2.刃スライドボタン（３）をロックする位置まで押す。⇒3.切断刃止めネジ（１２）を緩める。(六角レンチ 1.5mm) ⇒4.切断刃（１０）のポジションを 1 穴分移動させる。⇒ 5.切断刃止めネジ（１２）を締める。

ステップ３　刃が一巡した場合は、以下の要領で刃高 UP を行って下さい。（図 7-4）（図 7-5）
1.屑回収装置（１５）またはサイドカバー（１６）を取り外す。(六角レンチ 1.5mm) ⇒ 2.切断刃止めネジ（１２）を緩める。(六角レンチ 1.5mm) ⇒3.アジャスタ止めネジ（１３）を緩める。(六角レンチ 1.5mm) ⇒ 4.アジャスタ（１４）を一目盛り矢印方向に回す。(六角レンチ 1.5mm) ⇒5.アジャスタ止めネジ（１３）を締める。⇒ 6.切断刃止めネジ（１２）を締める。

> 切断刃止めネジを強く締めないで下さい。刃の破損の原因となります。

ステップ４　刃高ＵＰした後、ステップ 1～3 を繰り返して使用して下さい。
ステップ５　刃高を２目盛りＵＰさせた後、刃が 1 巡しましたら、切断刃（１０）を新しいものと交換しますのでメンテナンス担当まで装置をご返却下さい。ご返却する時は、刃高を最初の目盛りの位置に矢印と逆方向に回して戻し、ご返却下さい。

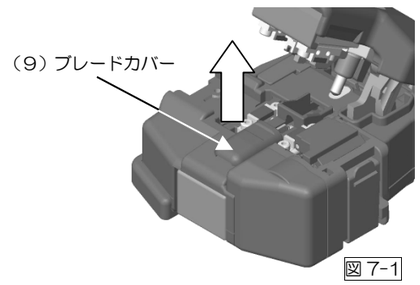

図 7-1

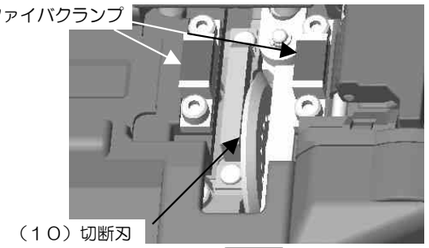

図 7-2

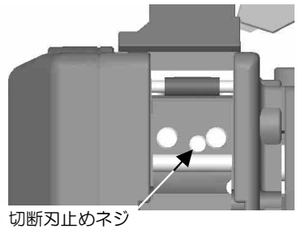

図 7-3

図 7-4

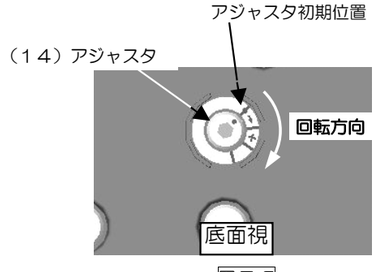

図 7-5

屑回収装置組み換えガイド

取付け部品	用途
サイドカバー（１６）	屑回収を指で行う場合に取付けます。
屑回収装置（１５）＋大型心線屑箱（６）	屑回収が必要な場合は、大容量収納タイプの取付けを推奨いたします。
屑回収装置（１５）＋小型心線屑箱（５）	寸法的な問題で大型心線屑箱の装着が適していない時に使用します。

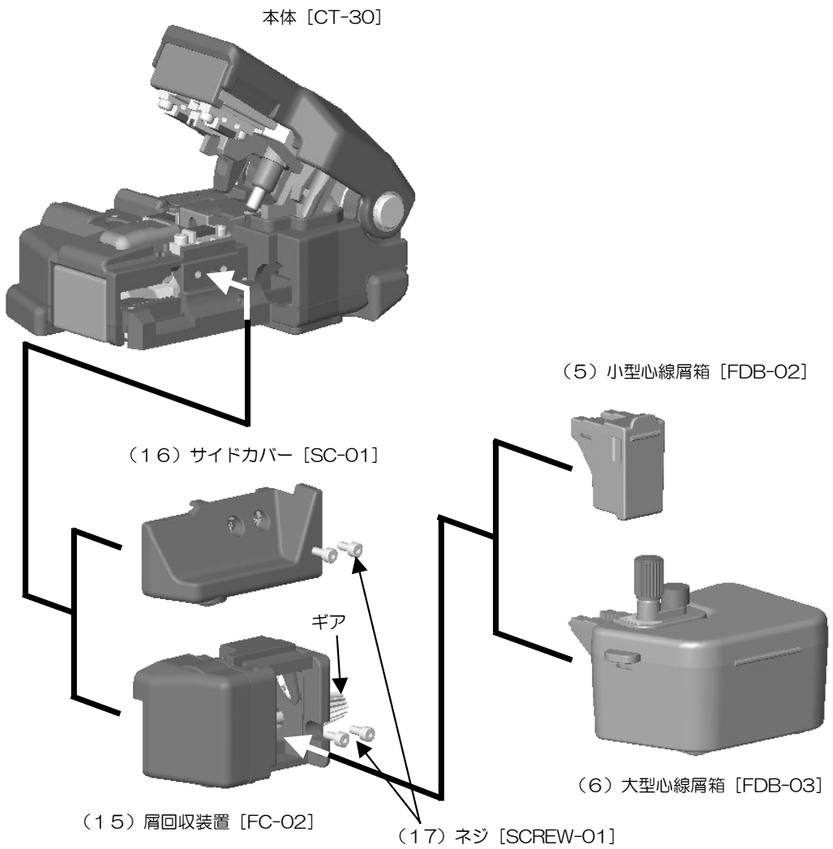

図１

屑回収装置・サイドカバー取付け手順

1. カッタ本体右側にあるネジ穴に屑回収装置（１５）・サイドカバー（１６）を取付けます。（屑回収装置のギアはカッタ本体に挿入します。）（図１）
2. 屑回収装置（１５）・サイドカバー（１６）を面Aに押し当てて（図２）、ネジ（１７）ををを締め付けます。
3. 屑回収装置は６章の操作手順に従ってファイバを切断し、切断屑を回収するか確認して下さい。

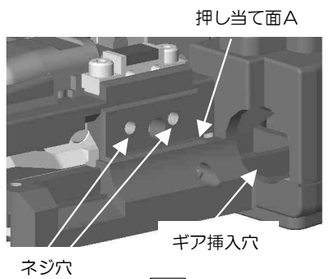

図２

メカニカルスプライス用ホルダ台取付け手順

1. カッタ本体左側にあるネジ穴にメカニカルスプライス用ホルダ台（１８）を取付けます。（図３）
2. メカニカルスプライス用ホルダ台（１８）を面Bに押し当てて ネジ（１７）を締め付けます。（図３）

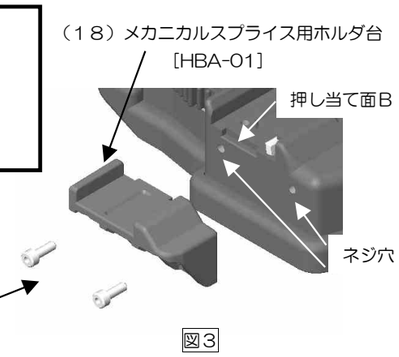

図３

A．サイドカバー装着時

本体にサイドカバー（１６）を装着した時の、キャリングケース内の添付品の収納位置は図４のようになります。

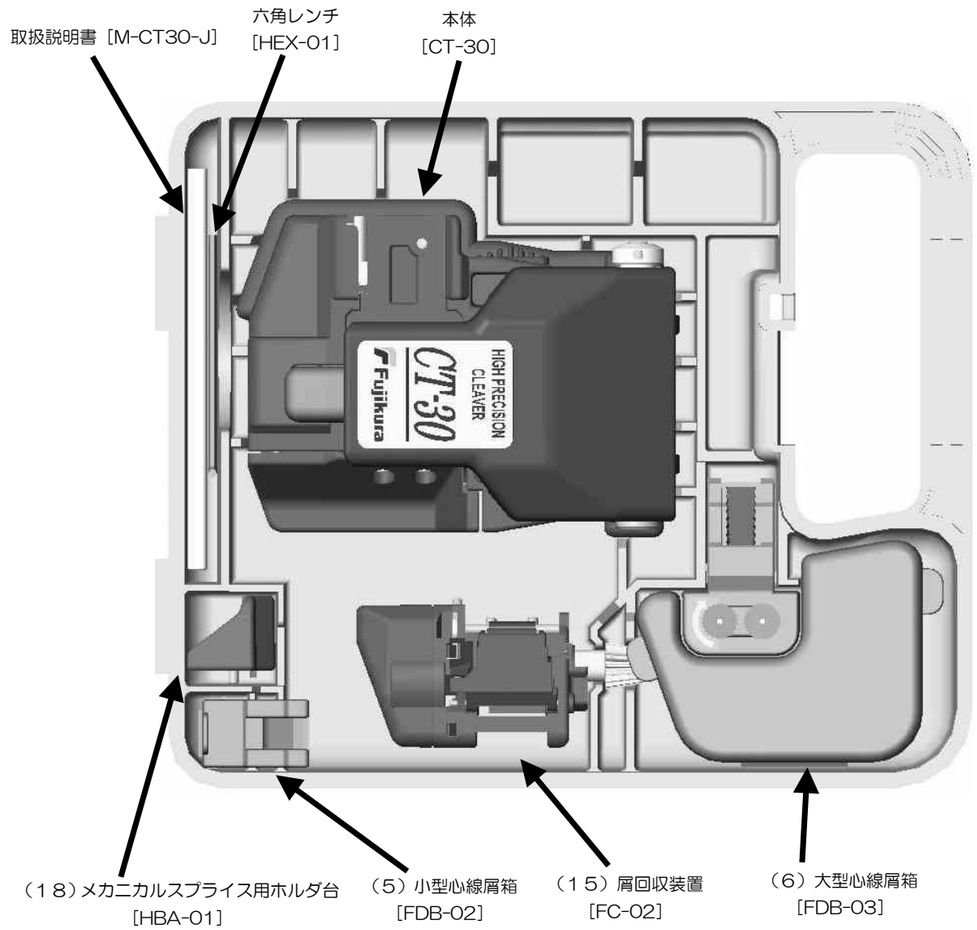

図４

B．小型心線屑箱装着時

本体に小型心線屑箱（５）を装着した時の、キャリングケース内の添付品の収納位置は図５のようになります。

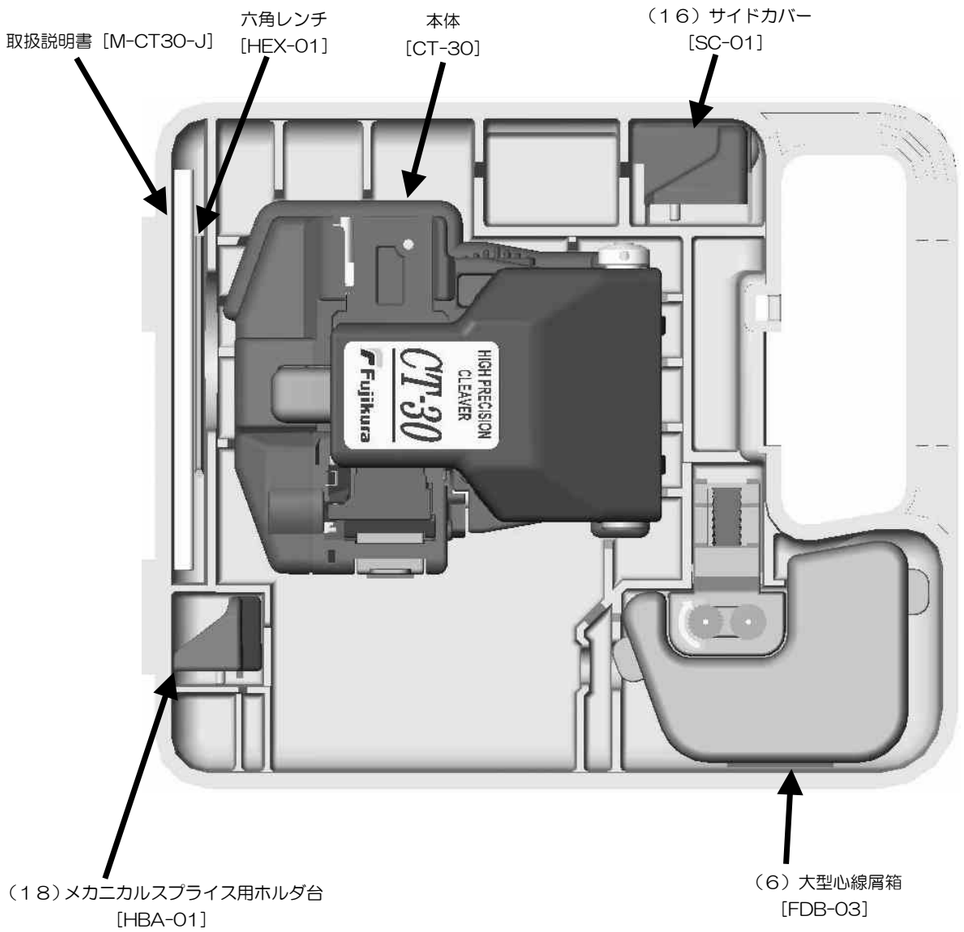

図5

C．大型心線屑箱装着時

本体に大型心線屑箱（６）を装着した時の、キャリングケース内の添付品の収納位置は図６のようになります。

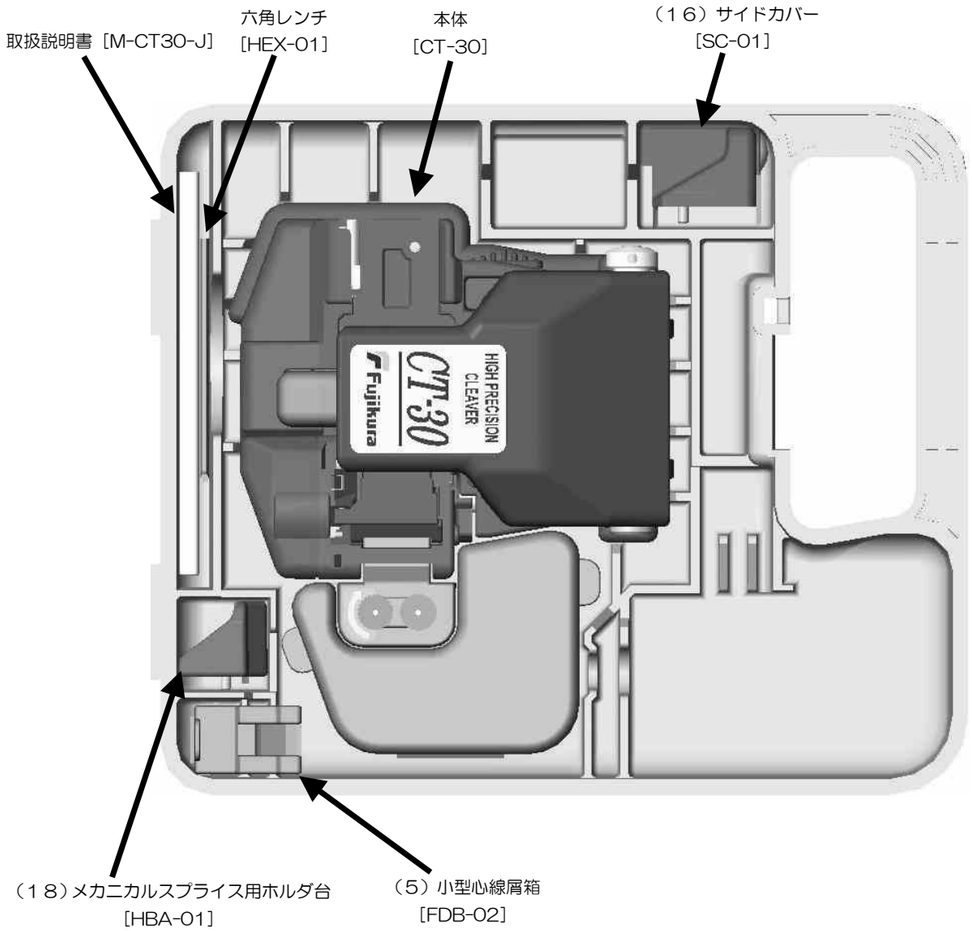

図6